

授 業 科 目 区 分	実習科目	開設コース	教育政策リーダーコース
授 業 科 目 名 (英 文 名)	教育政策トップリーダーインターンシップⅠ（海外教育行政機関） （ Internship for top leaders of educational policy Ⅰ－ Internship in overseas educational administration agencies ）		
単 位	2単位	担 当 教 員	日 渡 円 堀内 昭彦 押田 貴久
必修・選択の別	選択必修		
授 業 の 方 法	実習		
標 準 履 修 年 次	1年次		
開 講 学 期	通年		
授 業 の テ ー マ 及 び 到 達 目 標	教育政策・行政のトップリーダーに求められる能力・力量を向上させ、また国際的な知見を大きくするために、海外の教育行政機関、教育機関の制度、組織、運営を見聞、体験させることを目的とする。 もって受講生の日本の教育、教育行政に対する見識を外国との比較によって相対化し、トップリーダーとしての課題解決力の拡充を図る。		
授業の内容・計画	事前指導	受講者各自でインターンシップ課題を設定し、訪問国の教育制度、教育行政システムについて文献や資料等をもとに、調査項目を作成する。（全員）	
	実習	海外（フィンランド）の大学、教育委員会、小中学校等を訪問する。各機関において、そこでのリーダーの業務参観・分析、意見交換・交流を行う。 ※令和4年度は、令和5年1月30日(月)～5日(日)に、フィンランド国を訪問する。 (主担当・引率者は日渡・押田)	
	事後指導	受講生各自が設定したインターンシップ課題の実地における達成についてレポートを作成する。受講生各自の作成した報告書を発表し、相互に検討し、日本の教育、教育行政の特質、問題点、改革改善課題を検討する。（全員）	
成績評価の方法・観点等	「インターンシップ報告書」（50％）、「インターンシップ中の積極度」（30％）および「国内授業における参加度」（20％）		
テキスト・教材・参考書等	特に指定しない。必要な資料は適宜配付する。		
事前事後学修	訪問予定国の教育制度ならびに教育行政システムを中心に種々の情報収集を行い、調査項目を作成する。インターンシップ課題の実地における達成をふりかえりレポートを作成する。勤務先等へフィードバックをする。（全30時間）		
そ の 他	・本科目では、1週間程度、海外教育行政機関等（フィンランドを予定）を訪問します（渡航・滞在費用は自己負担となります）。 ・「比較教育政策論」と同時に登録することはできません。 ・アクティブ・ラーニング実施科目 ・授業連絡は、Live Campus 等を用いて行う。 ・授業は原則「対面」で実施するが、状況に応じて「オンライン（同時双方向）」または「ハイフレックス型（対面とオンライン（同時双方向）の併用）」で実施する場合もある。 ・尚、受講生の状況に応じて、講義・演習の内容を変更することもある。		